

TMT他

	研究歴	すばる	6 TMT	7 その他
1	10年未満	4-8回	すばる望遠鏡や観測装置の開発に関わってきた人たちが、今後 TMT のようなより大きな望遠鏡の開発に関わりたいと思うのは極めて自然なこと と思います。でも、TMT、日本のユーザーの人たちにとってどれだけ 必要ですか？サイエンスの観点からそのことが十分に議論されるべきだと思います。実際、僕自身のサイエンスにとって、TMT はあまり大きなインパクトを もたらす気がしません。TMT に参加することで巨額の費用が必要となり、他のプロジェクト (SPICAや可視AOなど) が金銭的に圧迫されるのであれば、あまり嬉しくありません。	
2	10年未満	9回以上	日本の光赤外天文学がトップランナーの一員であるためには TMT計画の参加は欠かせない。観測天文において最も重要なのは 一番最初に天体や物理現象を発見することであることは疑いの余地はない。TMTは最初に完成するであろう30m級望遠鏡である上、TMTは (JWSTと並んで) これまでの望遠鏡よりも能力が桁で高いので新しい発見を行える可能性が 非常に高い。 かつて国立天文台はJWSTをやらないと決めたのであるから、 TMTまでやらないとなると日本の光赤外においてインパクトのある 研究が行える装置は無くなる。もし、独自のELT計画を進めるにしても 完成がTMTの 5年後になるようなら非常に問題である。すばるの時のように一番面白いサイエンスの大半がKeck望遠鏡に もっていかれた経験を忘れてはいけない。最後に、TMTをやるかやらないかの最終的な決断に関しては50歳以下の 研究者の意見を尊重してもらいたい。この決断で実際に影響があるのは 50歳以下の研究者である。年長者のアドバイスは非常に有難いし、 有益な場合も多いので歓迎すべきである。その一方で全員ではないが、 対案を持たず、単に反対のための反対をするような無責任な発言も聞かれる。 年長の先生方は、ご自身の影響力の大きさも良く考えた上で発言して頂きたい。	
5	10年未満	9回以上	いくつかの 30m級望遠鏡の検討が各国で進められている中 で、どうして特に TMTを選んで参画を検討する事になっているのかを理解できていないので、この辺りの事情について UM どうか知りたいと希望しています。TMT がいいのか他の 計画がいいのかはともかく、30m級望遠鏡の取組に日本が 参画していくのは非常に重要であり、ぜひ推進していきたい と思います。	
7	10年以上	1回	情報があまりないのでよくわからない	
8	10年以上	なし	次世代の巨大プロジェクトが (資金的な面で) 日本 1 国でできるとは思わないので、どこかとの協力の可能性を探る必要はあると思う。	

TMT他

研究歴 すばる#6 TMT			7 その他	
9	10年未満	9回以上	<p>独立法人化後、各大学が生き残りのために、自前の小さな望遠鏡を作る方向になっています。国立天文台以外の研究者が、本当にELT ができればいいと思っているのか、UMで率直な意見交換をする場を 設けるべきだと思います。それこそ、All Japan的体制で立ち向か わないととても実現できない計画だと思うのですが、現時点では、 科学的見地から、ELTを心底から欲しいと思っている日本人研究者 が、ほとんどいないと見受けられます。すばるの予算が通る直前も、 今と同じような感じだったのか？ UMの場で、50代の教授の体験談 を聞かせて欲しい と思います。</p>	<p>すばる小委員会の提言が、 1. 机上の理想論に基付く提言 2. 予算、人員などの縛りがあることを踏まえた上で、理想ではないけれども、現実的に悪い点を少しでも改善するための提言のどちらであるかを、はっきり示して欲しいと思います。現状では、すばる観測所の現実的縛りを積極的に理解しようとする姿勢が見受けられない感じで、1.を言っているだけの項目が多くあるように思 います。1.と 2.は多くの場合同じではなく、1.をしているだけでは、現実的にほとんど改善しないのではと危惧します。また、装置開発を促進するためには、何らかの方法で装置開発者を 優遇する流れを作る必要があると思いま す。例えば、Spitzerの装 置のように、初年度だけではなく、長いタイムスパンに渡って多くのGTOを与えるなど。当たり前ですが、メリットがないと、人間は 動きません。現状では、装置開発者(特にMOIRCS)の莫大な努力に対 する評価、感謝、敬意がほとんど感じられず、装置開発者を不快に させるような発言、議事録が目立ちます。このままだと、装置開発 者が皆すばるから離れていき、そして誰もいなくなったという状況になり得ること、実際そうなりつつあるよう に個人的に感じられることを、強く危惧します。また、ブレインス トーミングとしての科学的議論、装置の将来構想 の議論は重要だと思 います。しかし、提言だけして、後の予算獲得、体制作りなどは他人におまかせという姿勢では、装置開発者側にとっては、トップダウンにあたります。よく言われるボトムアップが科学の進歩に本質的に重要だという流れと相反するもので、もっと装 置開発者を深く巻き込んで進めるべきだと思います。</p>
10	10年未満	4-8回	<p>30m望遠鏡の参加は、A0との組みあわせの可能性も含めて、将来の世界の光赤外の天文学の最前線に乗り遅れないためにも必要だと思います。</p>	
13	10年未満	4-8回	<p>TMTにせよ、EELTにせよ、何らかの形で大型望遠鏡に参加して、観測時間を 確保することは必要だと思います。今までの将来計画ミーティングでの印象から、おそらく予算の問題が最もクリティカルであると思っています。ですので、スペース、地上大型望遠鏡のどちらに重点を置くか、地上大型望遠鏡で何%の観測時間を確保するにはいくら必要なのか(どういう貢献が必要か)を考える(調べる)必要があると思います。一方で、サイエンス面から最低どれくらい観測時間が 必要かの見積もりも必要だと思います。</p>	

TMT他

研究歴		すばる	6 TMT	7 その他
15	10年未満	4-8回	TMT参加を考える場合には、天文台だけに閉じずに、日本のコミュニティに広く参加希望を募ってほしい。(天文台では欠けている波長域・分野があり、台内だけで日本が参加すべき部分を議論をされることは、そのような別分野の研究者にとってはその分野が海外の分担分野とされることになる可能性もあり、却って不利益になると思う) その際には、現在の天文台の光赤外やすばるプロジェクトと、国内他機関との協力を強めるのはもちろんのこと、必要に応じて人的交流を行うべきである。また、装置、装置の一部、望遠鏡の一部、制御システム、観測ツール、解析ツール、など、さまざまな部分、さまざまな形での参加が可能になるようにしてほしい。自身の関心ある部分でいうと、TMTに提案されている装置への付加機能の開発を行うことでそこに参加する形に興味がある。非常に大型の計画になるので、興味のある研究者がどんどん参加できるような形を是非考えてください。関心のある方のマンパワーをいかに集められるかに成功するかどうかがかかっていると思う。	すばる望遠鏡には、諸外国からWFOSをはじめ機器搭載や観測時間の購入の打診が来ていると聞かすが、すばるの運営は、あくまで日本のコミュニティが利用の中心であるべきである。観測所は、予算的な厳しさもあると思うが、単に外国の打診を資金的な面だけで評価して受け入れるのではなく、日本のコミュニティが中心的な役割を果たしながら成果を出して行けるよう、まずは日本としての独自に次世代プロジェクトを検討すべきだし、また観測所としてコミュニティを育てて行くという理念を持って運営にあたってほしい。もしそうではなくて、単に資金的な問題で諸外国のプロジェクトを受け入れるだけの存在になるようなことがあれば、逆に日本のコミュニティは、すばるというプロジェクトにもはや支持を与えられなくなると思う。
16	10年以上	9回以上	subaru offers to provide a copy of TMT next to the TMT, and use them as an interferometer.	
18	10年以上	4-8回	ぜひとも積極的な取り組みをお願いしたい。	
19	10年以上	4-8回	装置関係で個別に打診されていますが、国立天文台が窓口となって、TMTに参加する形を議論していただきたいと思います。	
23	10年以上	9回以上		このようなアンケートはたびたび行われていますが、その後このアンケート結果はすばるの運用をよくしているのでしょうか？UMで議論されるだけで終わっている気がします。
24	10年未満	9回以上	TMT参加を第一に考えるのは妥当だと思いますが、参加した場合に何ができて何ができないのか、現時点で可能な範囲で明らかにしておく必要があると思います。	
26	10年未満	9回以上	装置開発に参画できれば良いと思います。その際には大学も含めた光赤外分野のインフラ整備(天文台大学間連携、観測装置実験開発スペース、技術者雇用など)も進めばよいと思います。	
27	10年未満	9回以上	天文学の研究において重要な現象を起こしている天体でもタイムスケールが短い場合は数密度が低くなってしまい、広視野探査が必須となる。すばるの広視野で良い天体サンプルを見つけて30mでフォローアップ分光観測をするのが非常に強力なので、今の段階から30mにアクセスできるように働きかけることは重要。	
29	10年未満	2-3回		内容に関わらず、このアンケートの集まりが悪かった場合、ある特定の具体的なことでは無く、広く関係分野のコミュニティとしての活性化(夢が持てるのか、等)を考えた方が良いでしょう。
32	学生	9回以上	国際協調の元にTMT計画へを進めることには、とても賛成です。	

TMT他

	研究歴	すばる	6 TMT	7 その他
33	10年未満	4-8回	TMTは技術的にはかなり固まっています、日本からの貢献は観測装置や資金面に限られるとよく聞く。これが本当なら、日本としてはTMTへの参加は限定的なものにとどめるのがよいのではないだろうか。特に、国内で超大型望遠鏡に向けて技術開発をしているグループや、光赤外スペースミッションを計画しているグループのストーリーとの整合性、ロードマップが是非とも必要だと思う。	
34	10年未満	4-8回		三鷹からのリモート観測の可能性について。
35	学生	なし	参画することには賛成です。ただし、こちら側の努力に見合っただけの見返りがある保証がないといけません。	
36	10年以上	2-3回	海外のプロジェクトに若手～中堅研究員をもっと送り込むべき。日本が得意とする回折格子等の精密光学素子やミラー素材、レーザ、電子機器の開発を分担する。	